

2023年度 決算補足説明資料

－ 2024年5月10日 －

京王電鉄株式会社

2023年度実績

- ホテル業の大幅な客室単価上昇による売上高の回復や、鉄道事業およびバス事業の輸送人員回復が進んだことに加え、2023年10月の鉄道旅客運賃の改定などにより、すべてのセグメントで対前年増収となり、営業収益は4,086億円
- 営業利益は438億円、親会社株主に帰属する当期純利益は292億円となり、いずれも過去最高益を更新
- 2023年度の年間配当金は1株につき52.5円と増配を予定（対前年+12.5円）

2024年度通期の業績見通し

- 2023年度下期に実施した鉄道旅客運賃の改定とサンウッド連結子会社化の通期寄与、不動産販売業の売上増などにより、営業収益は4,540億円
- 人件費や減価償却費などの費用が増加するものの、2023年度の過去最高益を上回り、営業利益は460億円、親会社株主に帰属する当期純利益は342億円を計画
- 2024年度の年間配当金は1株につき70.0円と、前年に引き続き増配を予定

I. 2023年度実績

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）
8. 営業外・特別損益
9. 連結貸借対照表
10. 連結キャッシュ・フロー計算書

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減 (増減率)
営業収益	3,471	4,086	615 (17.7)
営業利益	214	438	223 (104.1)
経常利益	217	434	217 (99.7)
親会社株主に帰属する当期純利益	131	292	161 (123.0)
EBITDA	506	746	240 (47.6)
減価償却費	291	306	15 (5.2)
資本的支出	528	449	△ 79 (△ 15.0)

※EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

2. セグメント別の概況

- 営業収益は、すべてのセグメントで増収
- 営業利益は、不動産業を除く各セグメントで改善

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減 (増減率)	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減 (増減率)
運 輸 業	1,111	1,241	129 (11.6)	39	131	92 (235.9)
流 通 業	1,028	1,112	83 (8.1)	39	56	16 (42.9)
不 動 産 業	528	654	125 (23.8)	120	120	△ 0 (△ 0.6)
レジャー・サービス業	527	727	199 (37.9)	△ 21	83	105 (—)
そ の 他 業	647	784	137 (21.3)	44	56	11 (25.6)
連 結 修 正	△ 371	△ 432	△ 60 (—)	△ 7	△ 9	△ 1 (—)
連 結	3,471	4,086	615 (17.7)	214	438	223 (104.1)

2. セグメント別の概況（四半期別）

(単位：億円)

		2022年度				2023年度			
		1Q実績 4～6月	2Q実績 7～9月	3Q実績 10～12月	4Q実績 1～3月	1Q実績 4～6月	2Q実績 7～9月	3Q実績 10～12月	4Q実績 1～3月
営業収益	運輸業	275	270	288	277	298	302	325	314
	流通業	239	241	275	272	268	260	294	289
	不動産業	120	102	142	163	113	125	184	230
	レジャー・サービス業	104	111	146	165	159	181	191	194
	その他業	120	133	159	234	113	154	189	326
	連結修正	△63	△67	△80	△160	△66	△71	△85	△208
	連結	797	791	930	952	887	952	1,099	1,146
営業利益	運輸業	23	22	24	△31	46	42	56	△12
	流通業	7	2	18	9	17	11	21	6
	不動産業	30	27	33	29	31	34	37	17
	レジャー・サービス業	△15	△15	4	5	20	24	29	8
	その他業	4	6	13	19	3	7	12	32
	連結修正	0	△0	△1	△6	0	△0	△0	△8
	連結	51	42	94	26	119	119	155	43

3. セグメント情報（運輸業）

- 鉄道事業では、輸送人員が前期と比べて回復したことに加え、2023年10月の運賃改定などにより、旅客運輸収入が増収
- バス事業においても、路線・高速などで増収

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減（増減率）
営 業 収 益	1,111	1,241	129 (11.6)
（ 鉄 道 事 業 ）	710	796	85 (12.0)
（ バ ス 事 業 ）	317	361	43 (13.6)
（ タ ク シ ー 業 ）	106	104	△ 1 (△ 1.5)
（ そ の 他 ）	24	25	1 (6.0)
（ 消 去 ）	△ 47	△ 46	1 (—)
営 業 利 益	39	131	92 (235.9)
（ 鉄 道 事 業 ）	29	96	67 (233.4)
（ バ ス 事 業 ）	6	32	26 (409.2)
E B I T D A	203	305	101 (49.8)
減 価 償 却 費	164	173	8 (5.4)
資 本 的 支 出	246	270	23 (9.7)

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業運輸成績

（単位：千人、百万円、％）

		2023年度通期の業績		
		2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	308,409	322,689	14,280（ 4.6 ）
	（ 通 勤 ）	228,617	239,615	10,998（ 4.8 ）
	（ 通 学 ）	79,792	83,074	3,282（ 4.1 ）
	定 期 外	245,480	260,996	15,516（ 6.3 ）
	合 計	553,889	583,685	29,796（ 5.4 ）
旅 客 運 輸 収 入	定 期	26,311	28,546	2,235（ 8.5 ）
	（ 通 勤 ）	23,352	25,492	2,140（ 9.2 ）
	（ 通 学 ）	2,958	3,053	95（ 3.2 ）
	定 期 外	40,819	46,570	5,750（ 14.1 ）
	合 計	67,130	75,116	7,986（ 11.9 ）

3. セグメント情報 (運輸業)

鉄道事業 輸送人員合計 対2018年度同月比の推移



2023年度 鉄道輸送人員 (対2018年度比)

(単位: %) (参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	10月	11月	12月	3Q累計	1月	2月	3月	4Q累計	2022年度 通期
定期計	$\Delta 23.1$	$\Delta 19.3$	$\Delta 19.7$	$\Delta 20.7$	$\Delta 17.2$	$\Delta 20.3$	$\Delta 24.1$	$\Delta 20.6$	$\Delta 18.0$	$\Delta 19.0$	$\Delta 10.7$	$\Delta 19.1$	$\Delta 21.2$	$\Delta 22.5$	$\Delta 23.1$	$\Delta 19.9$	$\Delta 23.4$
通勤	$\Delta 23.1$	$\Delta 23.5$	$\Delta 23.4$	$\Delta 23.4$	$\Delta 21.4$	$\Delta 22.4$	$\Delta 22.7$	$\Delta 22.8$	$\Delta 21.3$	$\Delta 22.5$	$\Delta 16.0$	$\Delta 21.9$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 24.9$	$\Delta 22.5$	$\Delta 26.1$
通学	$\Delta 22.9$	$\Delta 7.2$	$\Delta 9.2$	$\Delta 13.1$	$\Delta 3.7$	$\Delta 11.7$	$\Delta 27.9$	$\Delta 14.0$	$\Delta 8.0$	$\Delta 8.6$	7.2	$\Delta 10.7$	$\Delta 14.2$	$\Delta 11.5$	$\Delta 13.9$	$\Delta 11.2$	$\Delta 14.7$
定期外	$\Delta 5.2$	$\Delta 4.5$	$\Delta 5.2$	$\Delta 4.9$	$\Delta 2.6$	$\Delta 5.3$	$\Delta 5.4$	$\Delta 4.7$	$\Delta 5.8$	$\Delta 6.7$	$\Delta 5.0$	$\Delta 5.1$	$\Delta 5.6$	$\Delta 2.9$	$\Delta 7.5$	$\Delta 5.2$	$\Delta 10.8$
合計	$\Delta 15.8$	$\Delta 13.4$	$\Delta 14.1$	$\Delta 14.4$	$\Delta 11.4$	$\Delta 14.0$	$\Delta 16.7$	$\Delta 14.2$	$\Delta 13.1$	$\Delta 14.0$	$\Delta 8.2$	$\Delta 13.5$	$\Delta 15.1$	$\Delta 14.6$	$\Delta 16.3$	$\Delta 13.9$	$\Delta 18.3$

3. セグメント情報 (運輸業)

鉄道事業 旅客運輸収入合計 対2018年度同月比の推移

(%)



2023年度 鉄道旅客運輸収入 (対2018年度比)

(単位: %) (参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	10月	11月	12月	3Q累計	1月	2月	3月	4Q累計	2022年度 通期
定期計	△24.5	△24.0	△23.8	△24.1	△21.7	△24.0	△25.2	△23.9	△19.5	△18.1	△9.2	△21.2	△18.1	△17.6	△17.5	△20.4	△26.6
通勤	△24.5	△25.6	△25.2	△25.1	△23.3	△24.8	△24.4	△24.7	△20.5	△18.7	△10.5	△22.1	△18.0	△17.8	△17.5	△21.0	△27.6
通学	△24.5	△11.0	△13.0	△16.1	△7.9	△15.3	△31.4	△17.4	△11.0	△12.7	3.0	△14.2	△19.1	△15.3	△18.5	△14.9	△17.5
定期外	△6.1	△5.2	△6.1	△5.8	△3.3	△6.6	△6.0	△5.6	6.2	5.6	7.3	△1.5	6.3	8.8	3.5	0.4	△12.0
合計	△14.0	△13.5	△14.1	△13.9	△11.5	△14.1	△14.6	△13.6	△5.1	△4.6	0.6	△10.1	△4.7	△3.0	△5.3	△8.7	△18.4

4. セグメント情報（流通業）

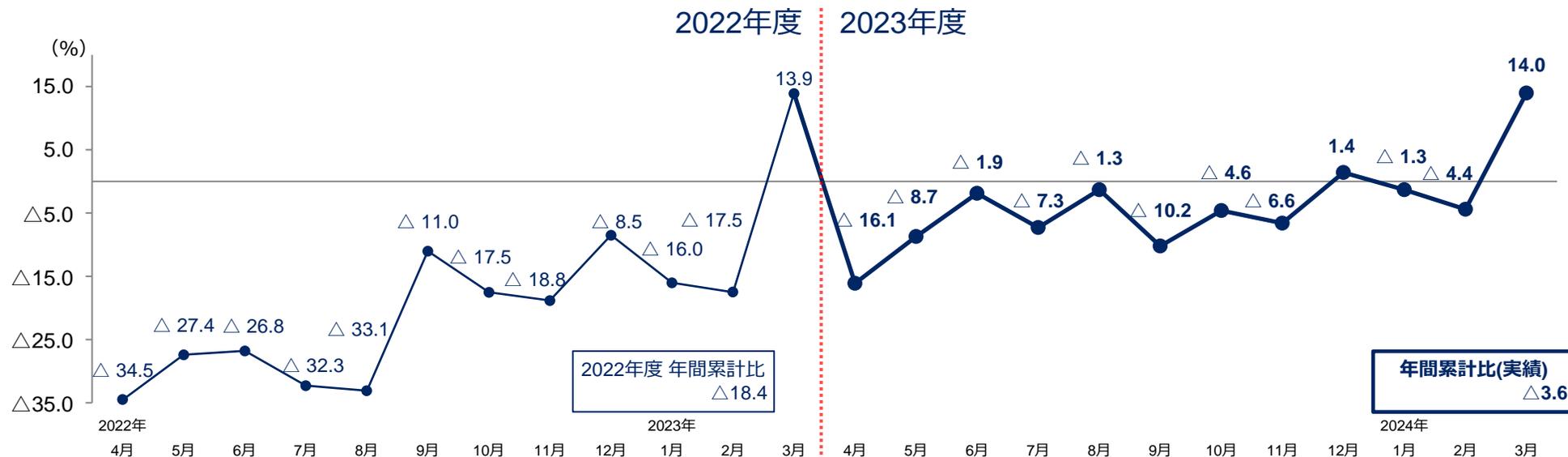
- 百貨店業では、競合店の縮小を契機とした改装と商品構成の見直し等により、国内顧客の売上高が好調に推移し増収
- ストア業では、スーパーマーケット事業およびコンビニ事業が好調に推移し増収

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減（増減率）
営業収益	1,028	1,112	83 (8.1)
（百貨店業）	310	348	37 (12.1)
（ストア業）	483	523	39 (8.2)
（ショッピングセンター事業）	148	151	2 (1.8)
（その他）	143	147	3 (2.3)
（消去）	△ 58	△ 57	0 (—)
営業利益	39	56	16 (42.9)
（百貨店業）	△ 5	9	14 (—)
（ストア業）	10	15	5 (46.4)
（ショッピングセンター事業）	38	33	△ 5 (△ 13.2)
E B I T D A	75	99	24 (32.7)
減価償却費	35	43	7 (21.5)
資本的支出	57	31	△ 26 (△ 45.9)

4. セグメント情報 (流通業)

百貨店業 新宿店売上高 対2018年度同月比の推移 (「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)



ストア業 売上高 対2018年度同月比の推移 (「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)



5. セグメント情報（不動産業）

■不動産販売業では、2023年12月にサンウッドを連結子会社化したことに加え、リノベーション物件の売上増などにより増収

（単位：億円、%）

	2023年度通期の業績		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減（増減率）
営業収益	528	654	125（23.8）
（不動産賃貸業）	375	405	29（8.0）
（不動産販売業）	219	324	104（47.9）
（その他）	35	44	9（25.8）
（消去）	△101	△119	△18（—）
営業利益	120	120	△0（△0.6）
（不動産賃貸業）	97	93	△4（△4.8）
（不動産販売業）	25	29	3（13.7）
E B I T D A	168	169	0（0.5）
減価償却費	47	48	0（1.5）
資本的支出	197	69	△128（△65.0）

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

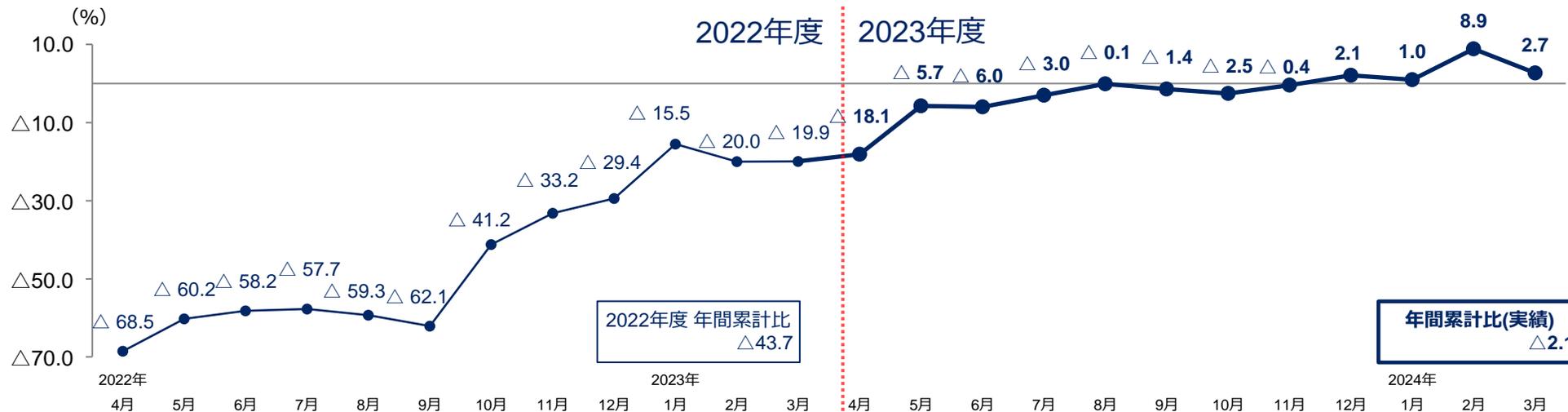
- ホテル業では、訪日外国人旅行客の宿泊需要の取り込みなどにより、「京王プラザホテル（新宿）」や「京王プレッソイン」などの客室単価が、コロナ禍以前を上回る水準まで大きく回復し増収

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減（増減率）
営業収益	527	727	199（37.9）
（ホテル業）	394	583	189（48.0）
（旅行業）	78	107	29（37.0）
（広告代理業）	80	85	5（6.3）
（その他）	58	61	3（6.4）
（消去）	△83	△111	△27（—）
営業利益	△21	83	105（—）
（ホテル業）	△15	79	95（—）
E B I T D A	20	123	102（505.5）
減価償却費	42	39	△2（△5.4）
資本的支出	26	49	23（87.2）

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 売上高 対2018年度同月比の推移



ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 客室稼働率の推移



7. セグメント情報（その他業）

- 建築・土木業では、2023年5月にNB建設（※）を連結子会社化したことなどにより増収
- ビル総合管理業では、受注増などにより増収

(単位：億円、%)

	2023年度通期の業績		
	2022年度 実績	2023年度 実績	前年増減（増減率）
営業収益	647	784	137 (21.3)
（ビル総合管理業）	263	282	18 (7.0)
（車両整備業）	76	93	16 (21.8)
（建築・土木業）	235	334	98 (41.9)
（その他）	94	94	0 (0.9)
（消去）	△ 23	△ 20	2 (—)
営業利益	44	56	11 (25.6)
（ビル総合管理業）	22	24	2 (12.6)
（車両整備業）	7	9	2 (29.3)
（建築・土木業）	15	20	5 (34.9)
E B I T D A	49	62	12 (26.1)
減価償却費	4	4	0 (4.4)
資本的支出	3	37	34 (966.4)

※「(株)NB建設」は、2024年4月から「京王建設横浜(株)」に商号変更しました。

8. 営業外・特別損益

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	増 減	増減要因
営 業 収 益	3,471	4,086	615	
営 業 利 益	214	438	223	
営 業 外 収 益	39	33	△ 6	助成金等収入△10億円
営 業 外 費 用	36	36	0	
経 常 利 益	217	434	217	
特 別 利 益	56	27	△ 28	固定資産売却益△16億円 工事負担金等受入額△16億円
特 別 損 失	63	48	△ 14	固定資産圧縮損△16億円
法 人 税 等	78	120	41	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	131	292	161	

9. 連結貸借対照表

- 総資産は、サンウッドの連結子会社化や販売用不動産の取得による棚卸資産の増加などにより増加
- 負債は、サンウッドの連結子会社化に伴う借入金等の増加や、資産除去債務の計上などにより増加
- 純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより増加

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	増 減	増減要因
流 動 資 産	1,828	2,482	653	仕掛品 + 412億円
固 定 資 産	7,723	8,311	587	有形固定資産 + 319億円、投資有価証券 + 222億円
総 資 産	9,552	10,793	1,241	
流 動 負 債	2,194	2,748	554	短期借入金 + 181億円
固 定 負 債	3,842	4,106	263	長期借入金 + 144億円、資産除去債務 + 109億円
負 債	6,036	6,854	817	
純 資 産	3,515	3,939	423	利益剰余金 + 240億円、その他有価証券評価差額金 + 136億円
負債及び純資産	9,552	10,793	1,241	

有 利 子 負 債	4,026	4,353	326
自 己 資 本 比 率	36.8%	36.4%	△0.4P

※有利子負債は、借入金 + 社債により算出している。

10. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	増 減	備 考
営 業 活 動 キャッシュ・フロー	250	522	272	税金等調整前当期純利益 413億円 減価償却費 306億円
投 資 活 動 キャッシュ・フロー	△420	△424	△4	有形及び無形固定資産の取得による支出△442億円
フリーキャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	△170	97	267	
財 務 活 動 キャッシュ・フロー	206	△77	△283	長期借入金の返済による支出△178億円
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	710	730	20	

Ⅱ. 2024年度通期の業績見通し

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）

1. 連結損益計算書

- 人件費や減価償却費など費用の増加を見込むものの、2023年10月に実施した鉄道旅客運賃の改定や2023年12月に連結子会社化したサンウッドの通期寄与に加え、不動産販売業の売上増などによる増収増益を見込む

(単位：億円、%)

	2024年度通期の業績見通し				
	2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減 (増減率)	2024年度 中期計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	計画差異 (差異率)
営 業 収 益	4,086	4,540	453 (11.1)	3,880	660 (17.0)
営 業 利 益	438	460	21 (4.9)	340	120 (35.3)
経 常 利 益	434	443	8 (1.9)	324	119 (36.7)
親会社株主に帰属する当期純利益	292	342	49 (16.9)	240	102 (42.5)
E B I T D A	746	796	50 (6.7)	675	121 (18.1)
減 価 償 却 費	306	335	29 (9.5)	335	0 (0.1)
資 本 的 支 出	449	703	253 (56.4)	636	67 (10.6)

2. セグメント別の概況

- 商業施設運営事業の再編に伴うセグメント区分変更（※）により、流通業の営業収益と営業利益が減少し、不動産業の営業収益と営業利益が増加

(単位：億円、%)

		2024年度通期の業績見通し				
		2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）	2024年度 中期計画 <small>(2022.5.2公表ベース)</small>	計画差異（差異率）
営業 収益	運 輸 業	1,241	1,313	72 (5.8)	1,182	131 (11.1)
	流 通 業	1,112	1,029	△ 82 (△ 7.5)	1,089	△ 60 (△ 5.6)
	不 動 産 業	654	1,039	385 (58.9)	558	480 (86.1)
	レジャー・サービス業	727	777	50 (6.9)	727	50 (6.9)
	そ の 他 業	784	841	56 (7.2)	707	133 (18.9)
	連 結 修 正 等	△ 432	△ 461	△ 28 (—)	△ 386	△ 75 (—)
	連 結	4,086	4,540	453 (11.1)	3,880	660 (17.0)
営業 利益	運 輸 業	131	143	11 (8.6)	72	71 (98.3)
	流 通 業	56	39	△ 16 (△ 29.8)	46	△ 6 (△ 14.9)
	不 動 産 業	120	156	36 (30.4)	114	42 (36.9)
	レジャー・サービス業	83	79	△ 3 (△ 4.4)	57	21 (37.7)
	そ の 他 業	56	54	△ 2 (△ 3.7)	56	△ 2 (△ 4.5)
	連 結 修 正 等	△ 9	△ 13	△ 3 (—)	△ 7	△ 5 (—)
	連 結	438	460	21 (4.9)	340	120 (35.3)

※事業再編に伴う流通業・不動産業のセグメント区分変更についてはP.27を参照

3. セグメント情報（運輸業）

(単位：億円、%)

	2024年度通期の業績見通し		
	2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）
営業収益	1,241	1,313	72 (5.8)
（鉄道事業）	796	856	60 (7.5)
（バス事業）	361	364	3 (1.0)
（タクシー業）	104	111	6 (6.5)
（その他）	25	26	0 (2.6)
（消去）	△ 46	△ 44	1 (—)
営業利益	131	143	11 (8.6)
（鉄道事業）	96	104	8 (8.4)
（バス事業）	32	32	△ 0 (△ 0.8)
E B I T D A	305	335	30 (9.9)
減価償却費	173	192	18 (10.8)
資本的支出	270	442	171 (63.3)

3. セグメント情報（運輸業）

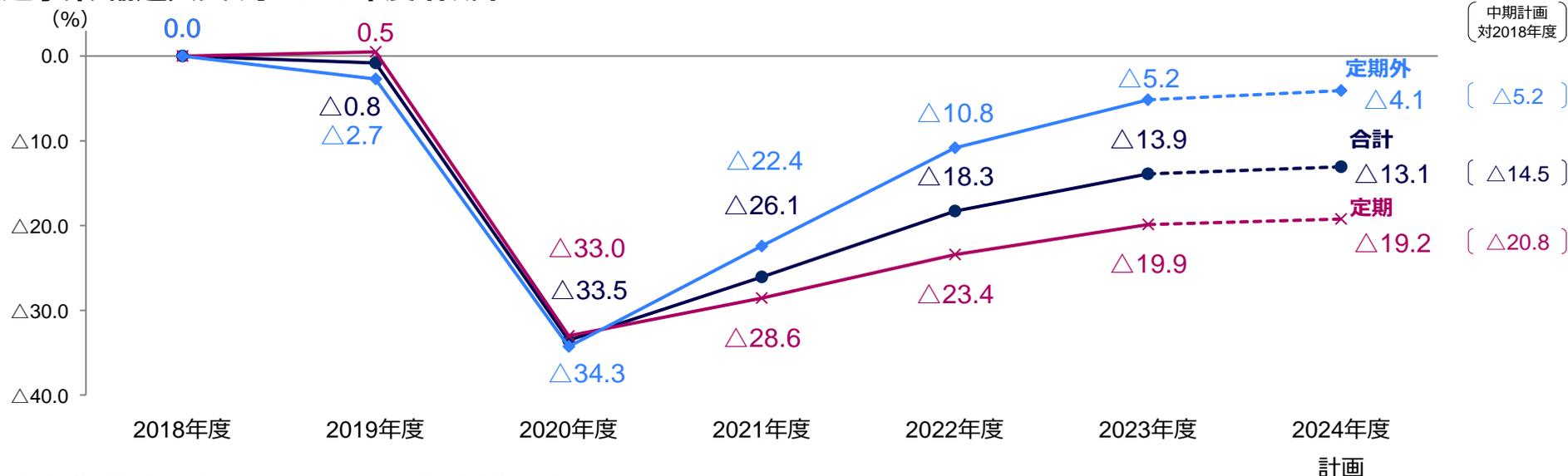
鉄道事業運輸成績

（単位：千人、百万円、％）

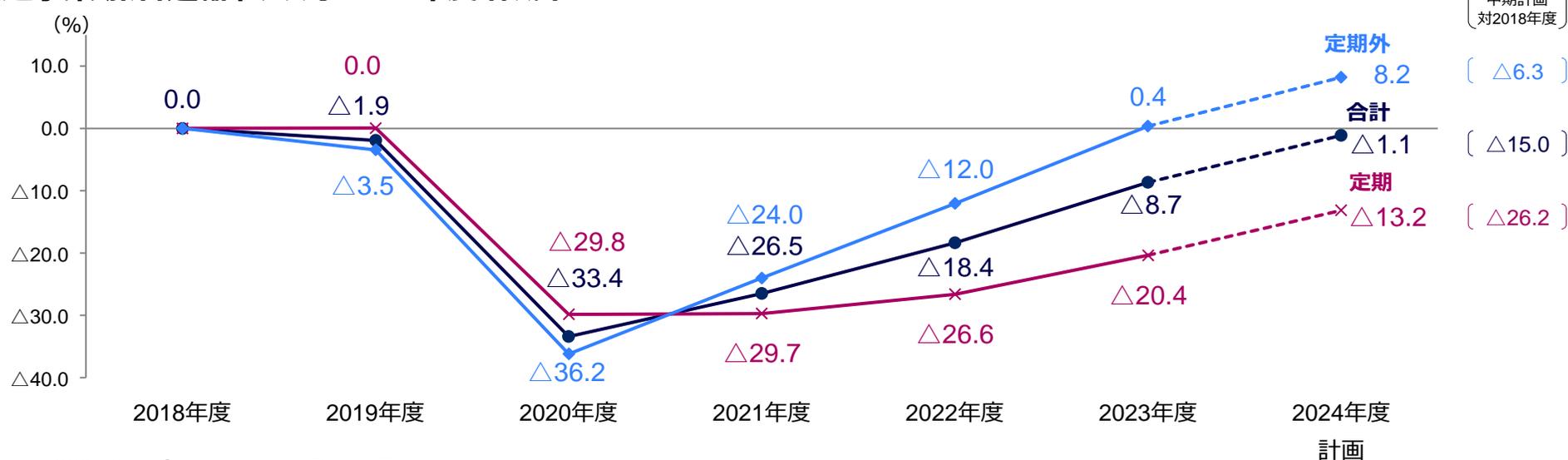
		2024年度通期の業績見通し		
		2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	322,689	325,318	2,629（ 0.8 ）
	（ 通 勤 ）	239,615	238,420	△ 1,195（ △ 0.5 ）
	（ 通 学 ）	83,074	86,898	3,824（ 4.6 ）
	定 期 外	260,996	264,065	3,069（ 1.2 ）
	合計	583,685	589,383	5,698（ 1.0 ）
旅 客 運 輸 収 入	定 期	28,546	31,126	2,580（ 9.0 ）
	（ 通 勤 ）	25,492	27,901	2,408（ 9.4 ）
	（ 通 学 ）	3,053	3,225	171（ 5.6 ）
	定 期 外	46,570	50,213	3,643（ 7.8 ）
	合計	75,116	81,339	6,223（ 8.3 ）

3. セグメント情報（運輸業）

鉄道事業 輸送人員 対2018年度増減率



鉄道事業 旅客運輸収入 対2018年度増減率



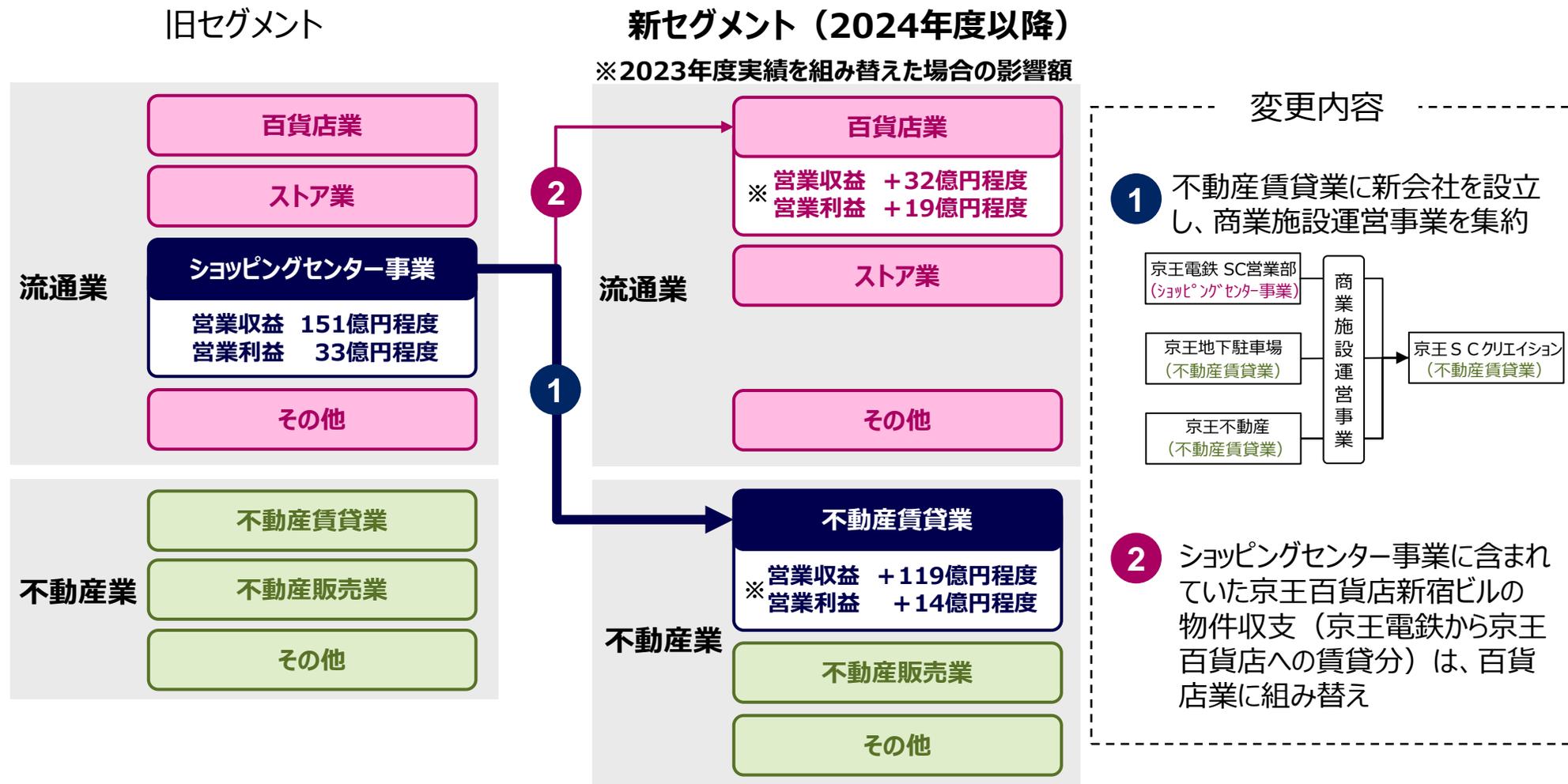
4. セグメント情報（流通業）

(単位：億円、%)

	2024年度通期の業績見通し			
	2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）	
営業収益	1,112	1,029	△ 82	（ △ 7.5 ）
（百貨店業）	348	377	29	（ 8.4 ）
（ストア業）	523	536	13	（ 2.5 ）
（ショッピングセンター事業）	151	—	△ 151	（ — ）
（その他）	147	145	△ 1	（ △ 1.0 ）
（消去）	△ 57	△ 30	27	（ — ）
営業利益	56	39	△ 16	（ △ 29.8 ）
（百貨店業）	9	25	15	（ 165.9 ）
（ストア業）	15	14	△ 1	（ △ 7.6 ）
（ショッピングセンター事業）	33	—	△ 33	（ — ）
E B I T D A	99	66	△ 32	（ △ 32.8 ）
減価償却費	43	27	△ 15	（ △ 36.7 ）
資本的支出	31	14	△ 17	（ △ 55.1 ）

(参考) 商業施設運営事業の再編に伴うセグメント区分変更

- 2024年度に新会社（京王S Cクリエイション）を設立し、不動産賃貸業に商業施設運営事業を集約
- 商業施設運営事業の再編に伴いセグメント区分を変更



5. セグメント情報（不動産業）

(単位：億円、%)

	2024年度通期の業績見通し		
	2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）
営業収益	654	1,039	385 (58.9)
（不動産賃貸業）	405	571	166 (41.0)
（不動産販売業）	324	593	268 (83.0)
（その他）	44	44	△ 0 (△ 0.9)
（消去）	△ 119	△ 169	△ 49 (—)
営業利益	120	156	36 (30.4)
（不動産賃貸業）	93	101	8 (8.6)
（不動産販売業）	29	52	23 (82.7)
E B I T D A	169	230	61 (36.2)
減価償却費	48	73	25 (53.3)
資本的支出	69	161	92 (133.3)

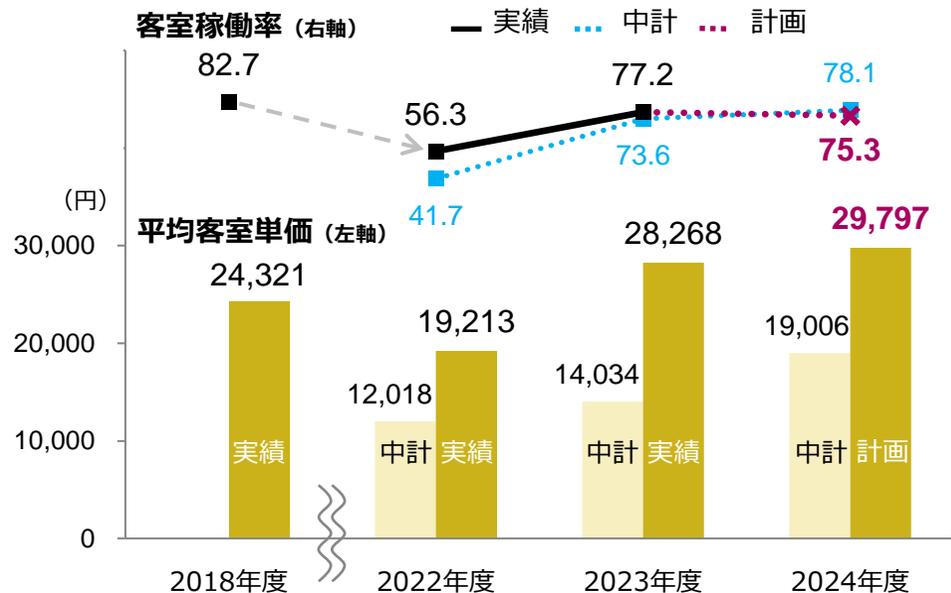
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

(単位：億円、%)

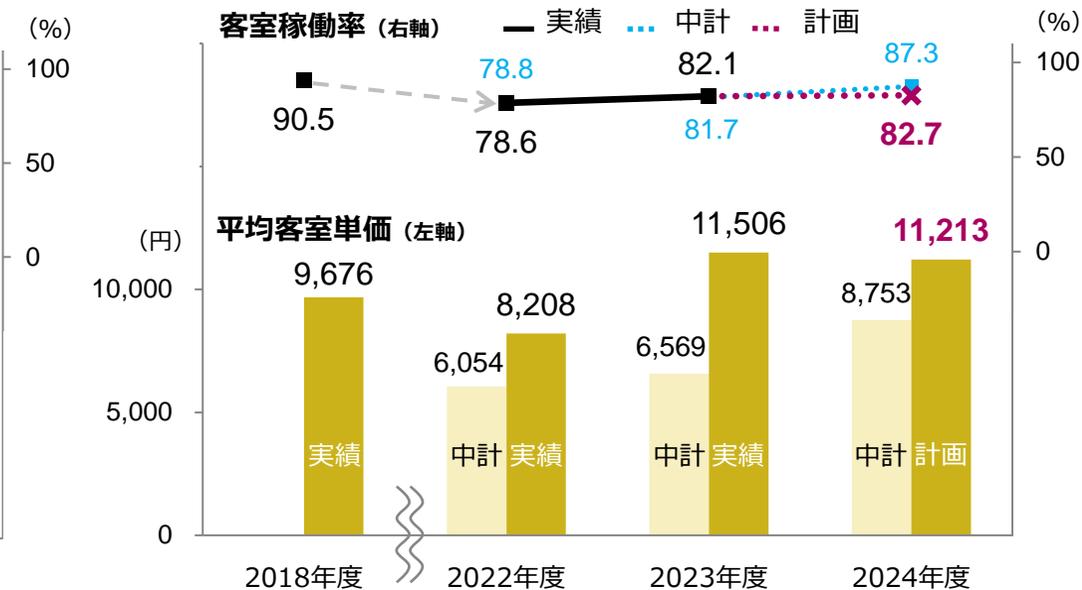
	2024年度通期の業績見通し		
	2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）
営業収益	727	777	50 (6.9)
（ホテル業）	583	596	13 (2.3)
（旅行業）	107	134	27 (25.2)
（広告代理業）	85	99	14 (16.4)
（その他）	61	64	2 (3.6)
（消去）	△ 111	△ 117	△ 6 (—)
営業利益	83	79	△ 3 (△ 4.4)
（ホテル業）	79	69	△ 10 (△ 13.1)
E B I T D A	123	120	△ 2 (△ 2.2)
減価償却費	39	40	0 (2.4)
資本的支出	49	70	20 (41.0)

6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

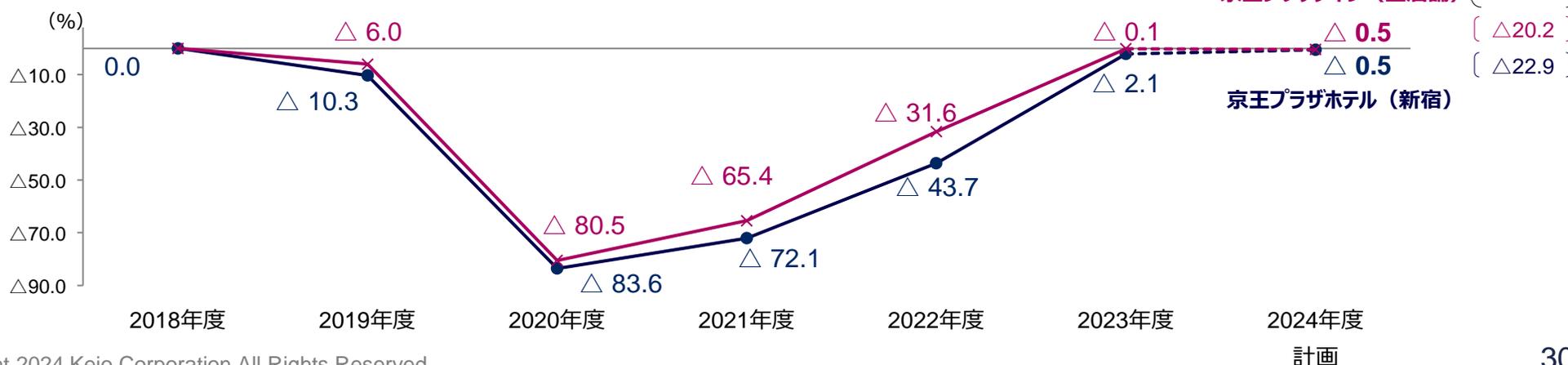
京王プラザホテル (新宿)



京王プレッソイン (全店舗)



ホテル業 売上高 対2018年度増減率



7. セグメント情報（その他業）

(単位：億円、%)

	2024年度通期の業績見通し		
	2023年度 実績	2024年度 計画	前年増減（増減率）
営業収益	784	841	56 (7.2)
（ビル総合管理業）	282	274	△ 8 (△ 2.8)
（車両整備業）	93	92	△ 0 (△ 0.9)
（建築・土木業）	334	400	65 (19.4)
（その他）	94	101	6 (7.3)
（消去）	△ 20	△ 26	△ 6 (—)
営業利益	56	54	△ 2 (△ 3.7)
（ビル総合管理業）	24	19	△ 5 (△ 21.8)
（車両整備業）	9	8	△ 0 (△ 7.3)
（建築・土木業）	20	23	2 (12.0)
E B I T D A	62	60	△ 1 (△ 2.5)
減価償却費	4	4	0 (3.1)
資本的支出	37	25	△ 12 (△ 32.4)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。